

1 階 福祉総合相談・ボランティアセンター

ボランティアセンター



手話サークルの活動

市民の皆さんのボランティア活動の拠点。手話、要約筆記、障害者や高齢者との交流など、数多くのサークルが活動しています。

相談コーナー

カウンターは車いすを利用している人が使いやすいように、少し高めになっています。

印刷室

点字の資料も作成できるように、点字プリンターも備えています。

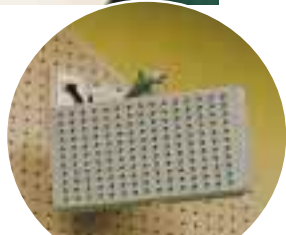
スタジオ

視覚障害者のための朗読テープの録音などに活用できます。また、ビデオに字幕を入れる「テロップコンピューター」も備えています。



視聴覚室

ビデオプロジェクター（ビデオ映写機）やビジュアルプレゼンター（実物投影機）のほか、聴覚障害者向けに赤外線を利用したマイク音声などを伝える「赤外線補聴システム」も備えています。



赤外線補聴システム

お見せ
します
やさしい工夫が
いっぱい

日常生活訓練室

台所、風呂、トイレ、ベッド、テーブルなどを備え、日常生活を営むための生活訓練が行えます。

図書コーナー

福祉関連図書や、「拡大読書機」を備えています。また、朗読ボランティアと一緒朗読利用ラックを2室配置して朗読を行います。



拡大読書機

車いす対応トイレ

各階に男女別に設置



ナースコール

各階に男女別に車いす対応トイレを配置しました。それぞれに、ナースコールも設置しています。1・2階は、ベッド付きの車いす対応トイレとなっており、利用者は、車いすからベッドに手をつきながら、余裕を持って便座に移動することができます。

機能回復訓練室

身体の機能回復訓練ができるように、歩行訓練階段、平行棒などを配置しています。床は柔らかい素材を採用し、床暖房も完備しています。また、更衣室にはシャワー、ナースコールを設置しています。



多目的ホール



バスケットボールコートが1面取れる広さがあり、車いすでのバスケットなどのスポーツが行えます。また、赤外線補聴システムも備えており、講演会など多目的に利用できます。

2 階 障害者福祉センター 老人福祉センター



入水リフト

機能訓練用プール

14m x 2コースと周回コースで、浮力を利用した機能訓練ができます。「入水リフト」を利用して、専用の車いすに乗ったまま入ることができます。更衣室は床暖房、ナースコールを設置しています。

デイサービスルーム・静養室

身体障害者を対象としたデイサービスを4月から実施。静養室では、介護型デイサービスを利用する重度の身体障害者がくつろぐことができます。

ほかにもこんな工夫が

そのほかにも、点字誘導ブロック、誘導鈴（玄関）、音声誘導システム（玄関、トイレ、エレベーターホール）、通路の段差解消、車いすでもゆとりのある広さの避難用のバルコニー、避難用のすべり台など、やさしい工夫がいっぱいです。



文字放送テレビモニター

聴覚障害者に、文字で緊急放送などを伝える「文字放送テレビモニター」を、廊下主要部と会議室などに設置しています。モニター脇に設置している「警告灯」は、緊急時には赤いライトが点滅します。

利用しやすい高さで、手すりも2段階式になっています。



2段階すり



ストレッチャー（車いすなら2台）も十分に乘せることができます。ボタンも大きく押しやすくなっています。（左）

触知案内板



視覚障害者に点字や凹凸で施設を案内する「触知案内板」を玄関やエレベーターホールに設置しています

作業室

陶芸窯を備え、陶芸、木工などの作業製作に利用できます。

車いすやストレッチャーでの入浴が可能な、特殊浴槽を備えています。



特殊浴槽

プレイルーム
床は柔らかい素材を採用しているため、障害のある子どもも安心して遊べます。床暖房も完備しています。

調理実習室

車いすでも利用しやすいように、高さを調節できる昇降式の調理台も備えています。



昇降式の調理台

3 階 社会福祉協議会・福祉公社



ホームヘルパー養成研修



まごころ給食の配食

まごころヘルプ
市民相互の助け合いによる在宅福祉サービスの「まごころヘルプ」。手助けを必要とする人が利用会員となり、手助けできる人が提供会員となって、有償（非営利）で助け合いを行っています。「まごころ給食」という給食サービスでは、配食ボランティアとして男性提供会員の活躍が目立っています。